令和８年９月１８日

危機管理対策特別委員会

庶務報告

地域振興部

(1)　災害時の地域内輸送拠点で使用する資機材の購入について　（危機管理課長）

庶務報告Ｎｏ．１
地　域　振　興　部
令和８年９月１８日

災害時の地域内輸送拠点で使用する資機材の購入について

危機管理課

１　概要

令和６年能登半島地震に係る国の検証結果及び本区と協定を締結している物流事業者と実施した物流検証訓練を踏まえ、本年度、葛飾区物資輸送計画の策定を進めている。現在、国や都から供給される物資を受け入れる地域内輸送拠点として、奥戸総合スポーツセンターエイトホール及びテクノプラザかつしかの運用検証を行っている。

地域内輸送拠点では、大量の物資を受け入れ、仕分け、運搬する必要があるが、これらを手作業のみで行う場合、拠点内に物資が滞留し、被災者への物資供給に遅れが生じる可能性がある。このため、地域内輸送拠点の運営に必要な資機材を購入する。

２　取組の方向性

令和８年３月、都が「避難者生活支援等に関する区市町村支援補助金」を公表し、地域内輸送拠点整備事業に係る資機材の購入費が、令和８年度の補助対象として示された。令和９年度の総合防災訓練では、地域内輸送拠点を活用し、協定事業者と連携した物資輸送の実動訓練の実施を検討している。

令和９年度から資機材を使用した研修及び実動訓練を実施するため、令和８年度中に資機材の調達を完了し、操作方法や安全管理等を確認する必要がある。このため、都の補助制度を活用して、地域内輸送拠点の運営に必要な資機材を早期に整備する。

３　購入する資機材

資機材	使用用途
ベスト、軍手、安全靴、ヘルメット	作業者の安全確保及び識別
誘導棒、カラーコーン、トラバー	搬入車両の誘導及び動線の確保
ウォーキーフォークリフト、ハンドリフト、ローラーコンベヤ、ロールボックスパレット、パレット	物資の荷下ろし、仕分け及び拠点内での移動
ホワイトボード	物資の搬入・搬出状況等の情報共有

４　地域内輸送拠点

拠点名	住所
奥戸総合スポーツセンターエイトホール	葛飾区高砂１－２－１
テクノプラザかつしか	葛飾区青戸７－２－１

５　スケジュール（予定）

時期	内容
令和８年 10 月	資機材購入契約の締結
11 月	物資輸送計画素案の作成
令和９年２月	資機材の納品
３月	物資輸送計画の策定
４月以降	資機材を用いた内部研修・訓練の実施
８月以降	総合防災訓練における物資輸送の実動訓練の実施

６　運用体制等

・ 災害時の物資輸送及び地域内輸送拠点の運営については、協定を締結している民間物流事業者から人的支援を受けるとともに、拠点運営に従事する区職員を指定する予定である。
・ ウォーキーフォークリフトを安全に使用するため、区職員の資格取得に要する経費及び維持管理経費を令和９年度当初予算で要求する。

７　補正予算額

（１）歳出

地域内輸送拠点資機材購入費

４，７０１千円

（２）歳入

避難者生活支援等に関する区市町村支援補助金（都独自：補助率１／２）

２，３５０千円